

## 2030年のあるべき姿(ビジョン)



JALグループでは、サステナブルな人流・商流・物流を創出し、「移動」と「つながり」のチカラで社会課題を解決することを目指し、ESG戦略を経営戦略の軸においた中期経営計画を策定しています。弊社としても、持続可能な成長を遂げるためにESGに配慮した事業活動に取り組むことを掲げ、以下に取り組むこととしています。E(環境)CO2削減、脱プラ等、S(社会・人)人権の尊重、健康と安全、地域社会への貢献等、G(ガバナンス)公正・透明な経営、積極的な情報開示等

## 認証期間において特に注力する活動・取組



詳しくはコチラ

### 取組概要

<b>経済</b>	<b>航空運送事業を通じた他社との事業連携によるサステナブルな観光推進</b>	環境に配慮した魅力的な観光コンテンツを開発し、豊かな自然の継承・関係人口増加により持続可能な観光の形成に貢献する。また、新たな特別塗装機をフックとして、生物多様性を保全し、未来へつないでいく重要性・意義を広く発信し、持続可能な沖縄の発展を目指す啓発活動も並行して行う。	
<b>社会</b>	<b>地域課題の解決による社会への貢献活動(世界自然遺産推進共同企業体の活動、サンゴ再生支援活動の更なる推進)</b>	これまでに実施してきた世界自然遺産推進共同企業体の活動やサンゴ再生支援協議会の活動の発展。環境保全と観光振興の両立を目指し、自治体などを含め、地域と手を携えた施策の展開を行う。	
<b>環境</b>	<b>CO2排出削減に向けた取り組み</b>	航空機の運航により排出されるCO2の削減に取り組み、カーボンニュートラルを目指す。運航方式の工夫や地上作業車のEV化推進、SAF活用検討等を行う。	